□■養成所ニュースプラス第 24 号 2026□■

11 月になりました。今月中旬までに模擬試験を活用して、知識のアウトプットをしていただけたらと思います。第 15 号（9 月 14 日）で模試の情報提供をしていますが、福祉教育カレッジから新たなお知らせがありましたので添付します。ご確認ください。

今号から 11 月中は、週 1 回 2 科目の過去問と出題基準の小項目から 1 ～ 2 のキーワード解説をお届けします。今週の Plus Quiz(1)は、「医学概論」から「加齢に伴う身体の変化」に関する五肢択二問題、(2)は、「心理学と心理的支援」から「心理療法」に関する問題です。正解して終わりではなく、正解でない選択肢のどこが間違いかを説明できるようにしてください。

■Plus Quiz(1)・・・・・

【第 34 回問題 1 改変】加齢に伴う身体の変化に関する次の記述のうち、正しいものを 2 つ選びなさい。

1．肺の残気量が増加する。
2．拡張期血圧が低下する。
3．聴力は低音域から低下する。
4．下部食道括約筋の収縮力が増強する。
5．膀胱（ぼうこう）容量が増大する。

■Plus Quiz(2)・・・・・

【第 38 回問題 12】次の記述のうち、発達障害のある A さん（10 歳、男性）に対して、応用行動分析（ABA：Applied Behavior Analysis）に基づく支援として、最も適切なものを 1 つ選びなさい。

1．A さんの多動の背景には、無意識の欲求があると考え、自由連想法を行う。
2．A さんの支援に関わる職員に生じている逆転移への対応を優先する。
3．A さんの身体に硬さが現れているようであれば、リラクゼーションを行う。
4．A さんの家族を対象としたカウンセリングを行う。
5．A さんの行動と A さんの支援に関わる職員の対応との関連性について明らかにする。

■Yoseijo Info・・・・・

・（37 期生）住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
・（37-38 期生）教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
※（37 期生）本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、10 月 31 日付け支給申請書類一式を 11 月 2 日に発送いたします。
お手元への到着は 11 月上旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。
※（38 期生）本養成所受講認定基準を満たす支給希望者には、11 月 15 日付けの支給申請書類一式を 11 月 16 日に発送いたします。
お手元への到着は 11 月下旬頃の予定です。今しばらくお待ちください。
・受講の手引に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

・第 39 回社会福祉士国家試験は、令和 9 年 2 月 7 日（日）です。
　詳しくはこちら→https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html
・日本ソーシャルワーク教育学校連盟（以下、ソ教連）主催の全国統一模擬試験のご案内です。
　詳しくはこちら→https://www.spw-mosi.com/exam/
※申し込み受付期間は終了していますが、ソ教連オンラインショップより申し込みが可能です。
　詳しくは、養成所ニュースプラス第 17 号に添付しておりますチラシをご確認ください。
・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。
　2 本目の「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」及び「更生保護出張講座」が視聴可能となりました。是非ご活用ください。
　受験対策ページへアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529
※パスワード等の案内は、養成所ニュースプラス第 2 号、第 4 号に添付しています。
・福祉教育カレッジより、読解力養成講座のご案内です。
　詳しくは、養成所ニュースプラス第 20 号に添付しておりますチラシをご確認ください。

■Plus Info・・・・・
　その他の情報をお届けします
・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。
　詳しくはこちら→http://www.aigo.or.jp/

■Back Number・・・・・
　過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

【Plus Quiz(1)・・・・・正解と解説】
　この科目の「問題 1 」は、第 35 回から乳幼児期や思春期、青年期が出題されてきました。今号では、第 34 回に出題された「高齢期」を取り上げます。
１．〇 肺の弾力性等の低下で肺活量が減少し、残気量が増加します。高齢者の呼吸は、息切れしやすく浅い呼吸となります。
２。〇動脈硬化が進行すると、血管の抵抗が増大し収縮期血圧（最高血圧）が上昇します。一方、血管の弾性が低下して速やかに元に戻れなくなるため、拡張期血圧（最低血圧）は低下します。
３．×加齢により内耳にある蝸牛の機能低下から、特に高い音が聞こえにくくなります。高齢者の難聴の多くは、感音系難聴で、重度になると補聴器の効果も限界があります。
４．×下部食道括約筋とは食道の下端にあり、胃の内容物が食道へ逆流しないように締める筋肉です。加齢によりこの筋力が低下し、締め付けが緩むと、胃酸などの内容物が逆流しやすくなり、逆流性食道炎を引き起こす原因になります。
５．×加齢により膀胱の弾性が低下し委縮するために膀胱容量は減少します。
＜小項目からピックアップ！＞
「高次脳機能障害」
・疾病の発症や事故による受傷による脳の器質的病変からの記憶障害、注意障害、遂行機能障害、社会的行動障害、失語、失行、失認その他の認知機能の障害を言います。
・全国で約 23 万人と推計され、外見からは分かりづらく周囲の理解が十分でないという課題があります。
・居住地域を問わず、医療から地域支援まで切れ目ない支援が受けられる体制を整えるため、2026（令和 8）年 4 月に「高次脳機能障害者支援法」が施行されました。
「WHO の健康の社会的決定要因（SDH)）
・人々の健康や疾病は、個人の問題ではなく、社会的、経済的、文化的、心理社会的、日常生活上などの諸条件により影

響され規定されるとして、諸条件を示すものです。
・WHO による SDH の 10 分類：(1)社会格差(2)ストレス(3)幼少期(4)社会的排除(5)労働(6)失業(7)社会的支援(8)薬物依存(9)食品(10)交通

【Plus Quiz(2)・・・・・正解と解説】
　出題基準の中項目「心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要」は、毎年のように出題される項目です。正解でない選択肢のキーワードから該当する心理療法を説明できるようにしましょう。
１．×「無意識」や「自由連想法」はフロイトが提唱した精神分析のキーワードです。
２．×「逆転移」も精神分析のキーワードです。
３．×身体的緊張にリラクゼーションを行うのは、動作法に基づく支援です
４．×「家族を対象としたカウンセリング」は家族療法に基づく支援です。
５．〇応用行動分析の「機能分析（機能的アセスメント）に関する説明です。機能分析は、行動の前後に着目し「A（先行条件）→B（行動）→C（結果)」と捉えることで行動が何をもたらしているのかを明らかにし、職員の対応を含めた環境調整を行います。

＜小項目からピックアップ！＞
「アフォーダンス（ギブソンが提唱)」
・環境が人や動物に対して、その行動の可能性（意味のある情報）を常に提供（afford）しているという考え方です。人や動物は、頭の中で解釈を挟むことなく、環境からその情報を直接的に発見し、知覚（ピックアップ）することができます。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。
※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。
※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F
Copyright2016 YoseijoNewsplus